



**PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015**  
プレイベント開催のお知らせ

**プレイベント[作品展示]**  
**ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》**



ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》 2012  
Image courtesy of Fondazione MAXXI  
Photo by Matteo Monti  
© William Kentridge

- タイトル PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015  
プレイベント[作品展示]ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》
- 日時 2014年2月8日(土) - 3月16日(日) 11:00-19:00(入場は18:30まで) 水曜休
- 会場 元・立誠小学校 講堂 (京都市中京区木屋町通蛸薬師下ル)
- 主催 京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市



## 開催趣旨

**「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」の開催1年前のイベントとして、南アフリカの美術家ウィリアム・ケントリッジの近作《時間の抵抗》(2012)を展示公開します**

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」の開催一年前のイベントとして、南アフリカの美術家ウィリアム・ケントリッジの大規模映像インスタレーション作品《時間の抵抗》[原題: The Refusal of Time] (2012)の展示公開を行います。5面スクリーンへの映像投影と多重音響、象徴的な運動機械を組み合わせた複雑な構成の本作品は、2012年のドクメンタ13(カッセル)に出品され、その時間を巡る深い考察と重厚な視覚表現によって世界中から訪れた数十万人の鑑賞者を魅了しました。京都での展示はアジアでは初めての紹介になります。ウィリアム・ケントリッジは、文化庁招聘による初来日時の同志社大学での講演会(2008)や京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、広島市現代美術館を巡回した日本初の大規模な個展の開催(2009-10)、第26回京都賞・思想・芸術部門の受賞(2010)など、京都と深い絆で結ばれた美術家でもあります。

1980年代末からケントリッジは、木炭とパステルで描いたドローイングを部分的に描き直しその変化を35 mm映画用カメラで撮影して制作する「動くドローイング」とも呼べるアニメーション作品で世界の美術関係者に衝撃を与え、現在もなお世界中の若い世代の美術家たちに大きな影響を与え続けている美術家です。

《時間の抵抗》は、20世紀初頭の近代物理学の誕生を研究するハーバード大学の科学史家ピーター・ギャリソンとケントリッジとの時間を巡る対話から着想され、野生動物にも似た美しく俊敏な踊りで知られる南アフリカの女性ダンサー、ダダ・マシロとのワークショップの過程で生み出された作品です。時間の意味を求める人間の飽くなき努力と人間に定義されることを拒むかのような時間の不思議さ、一方で人間が定義した時間の規則や拘束から逃れようと抗う人間、こうした両義性を内包するこの作品は、近代の普遍的で根源的な問題を執拗に検証し続けているケントリッジの、知の現在位置を明示する重要なマイルストーンと言えます。全部で6部制作された本作品は、ドクメンタ13で公開された直後に、そのほとんどが世界の有力美術館によって收藏され、エディション5/6は日本のコレクションに收藏されることになりました。今回の展示は所蔵者の石川コレクション(岡山)のご協力により実現することが出来ました。



## 開催概要

|         |  |
|---------|--|
| タイトル    | PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015<br>プレイベント[作品展示]ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》   |
| 会 期     | 2014年2月8日(土)– 3月16日(日) 11:00–19:00(入場は18:30まで) 水曜休   |
| 会 場     | 元・立誠小学校 講堂<br><br>〒604-8023 京都市中京区備前島町310-2(木屋町通蛸薬師下ル)<br>*阪急京都線「河原町」駅下車、1a出口より北へ徒歩3分<br>*京阪本線「祇園四条」駅下車、4・5番出口より北西方向へ徒歩5分<br>*駐車場・駐輪場はありません(駐輪は市営先斗町駐輪場[有料]をご利用ください)     |
| 料 金     | 一般500(400)円、大学生300(200)円<br><br>*( )内は前売り・20名以上の団体料金<br>*高校生以下および18歳未満、70歳以上の方は無料(入館の際、証明できるものをご提示ください)<br>*障害者手帳等をご提示の方および付添者1名は無料<br>*前売券は、12月10日(火)から2月7日(金)までの期間限定販売 |
| 前売券販売場所 | ジュンク堂書店京都店、京都総合観光案内所、MEDIA SHOP、ガクブチのヤマモト、<br>京都市内の大学生協プレイガイドほか  |
| 記者内覧会   | 2014年2月7日(金)   |
| 主 催     | 京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市   |
| 後 援     | 公益財団法人稲盛財団、国際交流基金  |
| 特別協力    | 石川コレクション(岡山)   |
| 協 力     | 京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学  |
| 助 成     | 公益財団法人野村財団   |
| 認 定     | 公益社団法人企業メセナ協議会   |

## 関連イベント

### ウィリアム・ケントリッジによるレクチャー

作家自身が、展示作品《時間の抵抗》について語ります。

日時：2014年2月22日(土) 13:00-15:00

会場：先斗町歌舞練場(京都市中京区先斗町三条下ル)

言語：英語(日本語逐次通訳あり)

定員：350名

入場料：無料[申込不要]

## 展示作品について

ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》2012年、映像インスタレーション

5チャンネルビデオ、メガフォン、呼吸する機械(木製の可動式装置)のインスタレーション(音声あり、再生時間30分)

コラボレーション：フィリップ・ミラー(音楽家)、キャサリン・メイバーク(映像作家)、ピーター・ギャリソン(科学史家)

展示作品：エディション 5/6、石川コレクション(岡山)

### 出品歴

2012 「ドクメンタ13」(ドイツ)

2012 「ウィリアム・ケントリッジ 垂直思考」国立21世紀美術館(イタリア)

2013 「Black or White」ファン・アッペ美術館(オランダ)

2013 「WILLIAM KENTRIDGE: FORTUNA」ピナコテカ・ド・エスタード・デ・サンパウロ(ブラジル)

2013 「ウィリアム・ケントリッジ 時間の抵抗」メトロポリタン美術館(アメリカ)

2014 「ウィリアム・ケントリッジ 時間の抵抗」ボストン現代美術館(アメリカ)

2014 「パース・インターナショナル・アーツ・フェスティバル」(オーストラリア)

## 会場について



Photo by Shunsuke Yamashita

### 元・立誠小学校

京都市中京区備前島町310-2(木屋町通蛸薬師下ル)

木屋町通高瀬川沿いに位置する立誠小学校は、昭和3年(1928年)に開校し、平成4年(1993年)に閉校しました。小学校以前にあった京都電燈株式会社(現・関西電力)の中庭では、リュミエール兄弟によって発明され「最初の映画」とされるシネマトグラフの試写実験が、明治30年(1897)2月に行われたことから、日本映画発祥の地のひとつとされています。現在では文化芸術を中心とした催しを行う場として活用されています。

「大阪・神戸・京都に「日本映画発祥の碑」 本当はどこ？」日本経済新聞大阪夕刊いまだキ関西(2012年6月27日付、電子版同年6月30日)より

## 作家プロフィール

### ウィリアム・ケントリッジ William Kentridge

1955年南アフリカ共和国生まれ、ヨハネスブルグ在住。2010年に第26回京都賞受賞。「動くドローイング」とも呼ばれる素描をコマ撮りした手描きアニメーション・フィルムをはじめ、版画、インスタレーション、パフォーマンス、人形劇、オペラなどに幅広く取り組んでいる。また、俳優、演出家、著述家など多彩な分野でも活躍している。

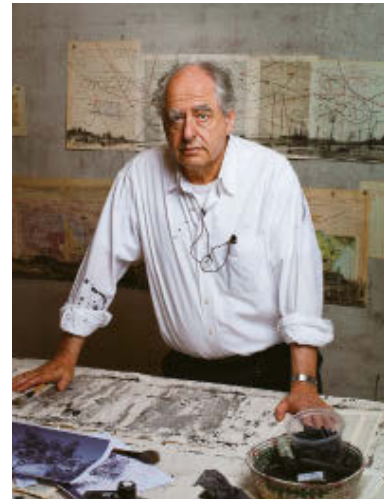


Photo by Thys Dullaart, courtesy of the William Kentridge Studio

#### 主な受賞

- 1999 カーネギー賞1999/2000(カーネギー美術館)
- 2003 カイザーリング賞(メンヒェハウス美術館)
- 2008 オскар・ココシュカ賞(オーストリア連邦政府)
- 2010 京都賞(稲盛財団)

#### 主な個展など

- 2001 「ウィリアム・ケントリッジ展」ハーシュホーン美術館ほか巡回(-2003)
- 2005 オペラ『魔笛』モネ劇場ほか巡回(-2011)
- 2009 「ウィリアム・ケントリッジ 5つのテーマ」サンフランシスコ近代美術館ほか巡回(-2012)
- 2009 「ウィリアム・ケントリッジ——歩きながら歴史を考える:そしてドローイングは動き始めた……」  
京都国立近代美術館ほか巡回(-2010)
- 2010 オペラ『鼻』メトロポリタン・オペラ

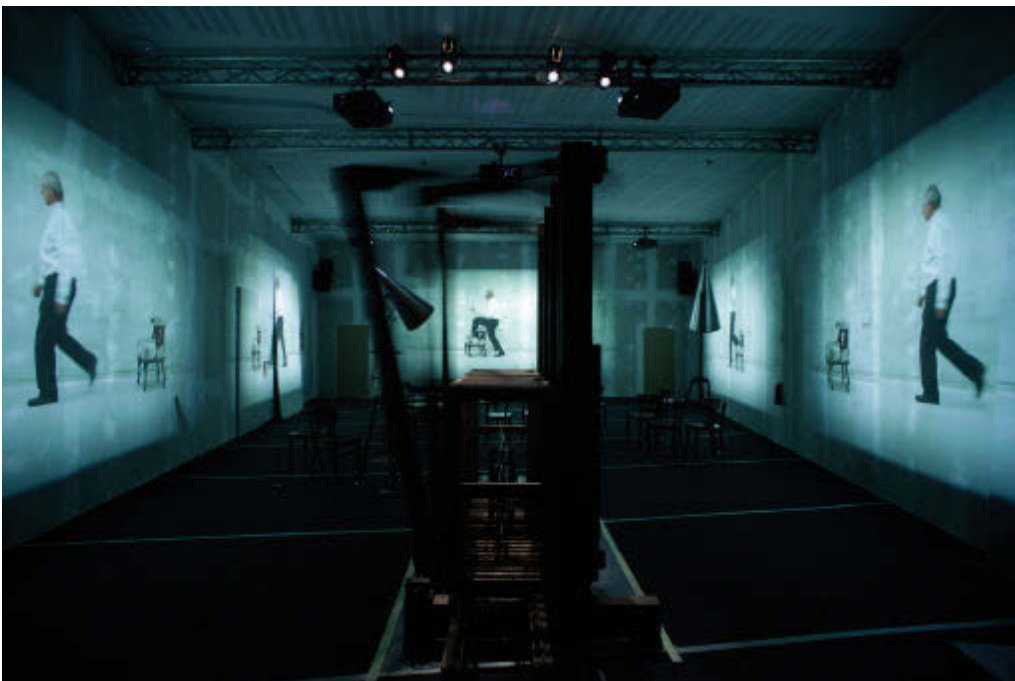
#### 主な国際展への出品

- 1996 「第10回シドニー・ビエンナーレ」
- 1997 「ドクメンタ10」
- 1999 「第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展」
- 2000 「第3回光州ビエンナーレ」
- 2001 「横浜トリエンナーレ2001」
- 2002 「ドクメンタ11」
- 2005 「第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展」
- 2008 「第16回シドニー・ビエンナーレ」
- 2012 「ドクメンタ13」



## 広報用写真

プレスリリース掲載の画像はすべて広報用にご提供可能です。下記の事務局までご連絡ください。



ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》 2012  
5チャンネルビデオ、メガフォン、呼吸する機械(木製の可動式装置)のインスタレーション(音声あり、再生時間30分)  
コラボレーション: フィリップ・ミラー、キャサリン・メイバーク、ピーター・ギャリソン  
国立21世紀美術館(イタリア、2012)での展示風景  
Images courtesy of Fondazione MAXXI  
Photo by Matteo Monti  
© William Kentridge

広報用写真



ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》 2012 (映像からのスチル) © William Kentridge  
5チャンネルビデオ、メガフォン、呼吸する機械(木製の可動式装置)のインストール(音声あり、再生時間30分)  
コラボレーション: フィリップ・ミラー、キャサリン・メイバーク、ピーター・ギャリソン



## PARASOPHIAについて

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」は、京都国際現代芸術祭組織委員会、京都経済同友会、京都府、京都市が主催する国際展です。2015年3月上旬から5月上旬にかけて京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか京都府、京都市の関連施設等で開催予定。

最新の情報は公式ウェブサイトをご覧ください。 [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

|                    |                                      |
|--------------------|--------------------------------------|
| 名 称                | PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015            |
| 会 期                | 2015年3月上旬から5月上旬                      |
| 会 場                | 京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など         |
| アーティストック<br>ディレクター | 河本信治（元・京都国立近代美術館学芸課長）                |
| 概算事業費              | 4億5千万円（2013～2015年度の総額）               |
| 目標入場者数             | 25万人                                 |
| 主 催                | 京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市 |
| 協 力                | 京都市芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学    |
| 後 援                | 国際交流基金                               |
| 認 定                | 公益社団法人企業メセナ協議会                       |

(2013.11.22現在)

## 2015年の開催に向けた今年度のイベント

### オープンリサーチプログラム

アーティストックディレクターとキュレトリアルチームが、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015に向けて行う調査研究のプロセスを広く一般に公開し共有するためのプログラムです。これまでのプログラムは、公式ウェブサイト内のレポート及び電子書籍『Parasophia Chronicle』において調査記録を公開しています。

- 01 **【レクチャー】リピット水田堯「猫と犬のように——映画とカタストロフ」**  
日時：2013年6月21日 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
- 02 **【報告会】田中功起+蔵屋美香「抽象的に話すこと——ヴェネツィア・ビエンナーレに参加して」**  
日時：2013年7月27日 会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館
- 03 **【レクチャー】ドミニク・ゴンザレス=フォルステル**  
日時：2013年9月6日 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
- 04 **【対談】ダイアローグ——蔡國強×浅田彰**  
日時：2013年10月14日 会場：京都造形芸術大学 人間館1階 ギャラリー・オーブ
- 05 **【レクチャー】妹島和世**  
日時：2013年10月25日 会場：flowing KARASUMA



# William Kentridge: The Refusal of Time

February 8 (Sat.) – March 16 (Sun.), 2014  
11:00AM-7:00PM \*Closed on Wednesdays/doors close at 6:30PM  
Auditorium, former Rissei Elementary School

現代美術の国際展 PARASOPHIA・京都国際現代芸術祭2015の開催一年前のプレイベントとして、南アフリカのアートシーンで活躍するウィリアム・ケントリッジの大規模映像インスタレーション作品《時間の抵抗》(原題: "The Refusal of Time")の展示公開を行います。5面スクリーンへの映像投影と多重音響、象徴的な運動機械を組み合わせた複雑な構成の本作品は、2012年のドクメンタ13カゼルに出品され、その時間を巡る深い考察と重厚な視覚表現によって世界中から訪れた数十万人の鑑賞者を魅了しました。京都での展示はアジアでは初めての紹介になります。ウィリアム・ケントリッジは文化庁招聘による初来日時の同志社大学での講演会(2009・10)、第26回京都賞、思想芸術部門の受賞(2010)など、京都と深い絆で結ばれた芸術家でもあります。

1980年代末からケントリッジは、木炭とパステルで描いたドローイングを部分的に描き直しその変化を35ミリ映画カメラで撮影して制作する「動くドローイング」と呼べるアニメーション作品で世界の美術関係者に衝撃を与え、現在もおお世界中の若い世代の美術家たちに大きな影響を与え続けている美術家です。

《時間の抵抗》は20世紀初頭の近代物理学の誕生を研究するハーバード大学の科学史家ピーター・ギャリソンとケントリッジとの時間を巡る対話から着想され、野生動物にも似た美しく繊敏な踊りで知られる南アフリカの女性ダンサー、ダダマシロとのワークショップの過程で生み出された作品です。時間の意味を求め人間の飽くなき努力と人間に定義されることを拒むかのような時間の不思議さ、一方で人間が定義した時間の規則や拘束から逃れようと抗う人間、こうした両義性を内包するこの作品は、近代の普遍的な問題を執拗に検証し続けているケントリッジの、知の現在位置を明示する重要なマイルストーンと言えます。全部で6部制作された本作品は、ドクメンタ13で公開された直後に、そのほとんどが世界の有力美術館によって收藏され、エディンバラ56は日本のコレクションに收藏されることになりました。今回の展示は所蔵者の石川コレクション(山崎)のご協力により実現することが出来ました。

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015 プレイベント [作品展示]

## ウィリアム・ケントリッジ 《時間の抵抗》

2014年2月8日(土) - 3月16日(日)  
11:00 - 19:00 (入場は18:30まで) / 水曜休  
会場: 元・立誠小学校 講堂 〒604-8023 京都市中京区備前島町310-2 (木屋町蛸薬師下ル)

入場料: 一般 500(400)円、大学生 300(200)円 \* ( )内は前売り・20名以上の団体料金  
\*高校生以下および18歳未満、70歳以上の方は無料(入場、鑑賞できるものを表示ください) \*障害者手帳をご提示の方および付添者1名は無料 \*前売券は、12月10日(火)から2月7日(金)までの期間限定販売 / 前売券販売場所: ワンクウ東京原宿店、買組総合販売所内、MEDIA SHOP、京都府内の大学生プレイガイドほか  
主催: 京都国際現代芸術祭実行委員会、一般社団法人京都国際現代芸術祭、京都市、京都市 観光・公共施設入居推進員、協賛: 石川コレクション、協力: 京都工業繊維大学、京都府立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、助成: 公益財団法人野村財団 賛成: 公益財団法人企業メッセ推進協会

京都国際現代芸術祭 2015 (原題: ウィリアム・ケントリッジによるレクチャー)

会場: 元・立誠小学校 講堂 (京都市中京区備前島町310-2)

日時: 2014年2月22日(土) 19:00 - 20:00

入場料: 500円

主催: 京都国際現代芸術祭実行委員会

協賛: 石川コレクション

協力: 京都工業繊維大学、京都府立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学

助成: 公益財団法人野村財団

賛成: 公益財団法人企業メッセ推進協会

お問い合わせ: 075-753-1111

ウェブサイト: www.parasophia.jp

Facebook: www.facebook.com/parasophia.jp

Google+: www.google.com/parasophia.jp

2015年春、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015が開幕します。

ウィリアム・ケントリッジ William Kentridge 1948年南アフリカの首都ヨハネスブルグ生まれ。国際的な「動くドローイング」とも呼ばれる絵画を得意とした作家で、アニメーション、フィルム、パフォーマンス、パブリックアート、映画、ビデオ、インスタレーションなど幅広く活躍している。その作品から2012年に開催されたドクメンタ13(ドイツ・カッセル)に出品された。また、東京、京都、奈良など多彩な分野でも活躍している。2009年からは2012年に開催されたドクメンタ13(ドイツ・カッセル)に出品された。また、東京、京都、奈良など多彩な分野でも活躍している。2009年からは2012年に開催されたドクメンタ13(ドイツ・カッセル)に出品された。また、東京、京都、奈良など多彩な分野でも活躍している。

At one stage the project was going to be called "Three Roman Tables," about three different times: Newtonian time (duration), time and then time disappearing into the black hole.

ある段階でこのプロジェクトは「三つの時刻表」(原題: "Three Roman Tables")と呼ばれていた。三つの異なる時間について考えていたからです。

When Einstein says there is not one single time, there are multiple times this was difficult to understand scientifically, mathematically, logically. How can it be that one twin ages at a different rate?

アンシュタインが「単一の時間だけではなく複数の時間がある」と言ったので、【時間】にも科学的にも論理的にも、理解するのがとても難しいものになりました。どうしたら一対の双子が異なる速度で年齢を重ねることが出来ると言うのでしょうか?

I am not yet certain what the work will ultimately express, but that is not the same as saying that it has nothing to say.

本心に表現が尽きるとは、それは、この瞬間に表現することが出来ないということと似てはいないか?

PARASOPHIA

京都国際現代芸術祭 2015

プレイベント [作品展示]

ウィリアム・ケントリッジ

《時間の抵抗》

2014年2月8日(土) - 3月16日(日)

11:00 - 19:00 (入場は18:30まで) / 水曜休

会場: 元・立誠小学校 講堂 〒604-8023 京都市中京区備前島町310-2 (木屋町蛸薬師下ル)

入場料: 一般 500(400)円、大学生 300(200)円 \* ( )内は前売り・20名以上の団体料金

\*高校生以下および18歳未満、70歳以上の方は無料(入場、鑑賞できるものを表示ください) \*障害者手帳をご提示の方および付添者1名は無料 \*前売券は、12月10日(火)から2月7日(金)までの期間限定販売 / 前売券販売場所: ワンクウ東京原宿店、買組総合販売所内、MEDIA SHOP、京都府内の大学生プレイガイドほか

主催: 京都国際現代芸術祭実行委員会、一般社団法人京都国際現代芸術祭、京都市、京都市 観光・公共施設入居推進員、協賛: 石川コレクション、協力: 京都工業繊維大学、京都府立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、助成: 公益財団法人野村財団 賛成: 公益財団法人企業メッセ推進協会

お問い合わせ: 075-753-1111

ウェブサイト: www.parasophia.jp

Facebook: www.facebook.com/parasophia.jp

Google+: www.google.com/parasophia.jp